

オペラ 夏の祭典 2019-20
Japan⇄Tokyo⇄World
プライベート

文化でつながる。未来につながる。

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

東京文化会館
Tokyo Bunka Kaikan

今日はオペラの日

観覧無料

どなたでも観覧いただけます
(会場に座席はございません)

人気オペラ歌手がオペラの日^にオペラの名曲を、歌います!!
オペラには馴染みがないと思っていたけど、「意外と聴いたことある!」
「華やかで楽しい!」と感じていただけるイベントです。

(11月24日は、日本で初めてオペラが上演された記念日です。)

※イベント終了後(17:10~)、KITTEではクリスマスイルミネーションが開催されます。
詳しくは、KITTEホームページをご覧ください。



朝岡 聡(司会)

元宝塚歌劇団宙組トップスターで、ヨーロッパやアメリカのオペラを絶えず鑑賞し、オペラへの造詣を深めている大和悠河をトークゲストに迎え、オペラ・クラシックソムリエとしても知られる朝岡 聡がナビゲート。2020年6月に上演を迎える、ワーグナー作品では希少な喜劇であり、祝祭感あふれる大作『ニュルンベルクのマイスタージンガー』の魅力やオペラ鑑賞の楽しみ方についてご紹介します。



林 正子
(ソプラノ)



青山 貴
(バリトン)



清水のりこ
(エレクトーン)



大和悠河
(トークゲスト)

トーク&コンサート

2019年 **11月24日** (日) KITTE 1階アトリウム イベントスペース
[JR東京駅 徒歩約1分、丸ノ内線東京駅 地下道より直結]
15:00スタート(約40分程度)

[出演] 林 正子(ソプラノ)、青山 貴(バリトン)、清水のりこ(エレクトーン)、大和悠河(トークゲスト)、朝岡 聡(司会)

[曲目] ビゼー作曲:『カルメン』より「闘牛士の歌」

プッチーニ作曲:『つばめ』より「ドレッタの夢」

ワーグナー作曲:『ニュルンベルクのマイスタージンガー』より「第1幕への前奏曲」(抜粋) ほか

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

【オペラ夏の祭典2019-20 Japan⇄Tokyo⇄Worldは、2020年に向けて東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の一環として実施しており、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にあわせ、指揮者の大野和士が総合プロデュースし、世界中から歌手が集い、2年にわたり実施する国際的なオペラプロジェクトです。2019年は「トゥーランドット」(プッチーニ作曲)を上演。2020年は「ニュルンベルクのマイスタージンガー」(ワーグナー作曲)を上演します。東京都と東京文化会館では、本プロジェクトを紹介するプライベートを行っています。ご来場者には東京2020大会広報PR用バッジをお渡しします。(数に限りがございます。)

主催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
お問合せ: 東京文化会館 事業係 03-3828-2111(代表)
t-bunka.jp @tbunka_official

オペラ夏の祭典2019-20特設サイト
opera-festival.com



文化
オリンピックアード

